

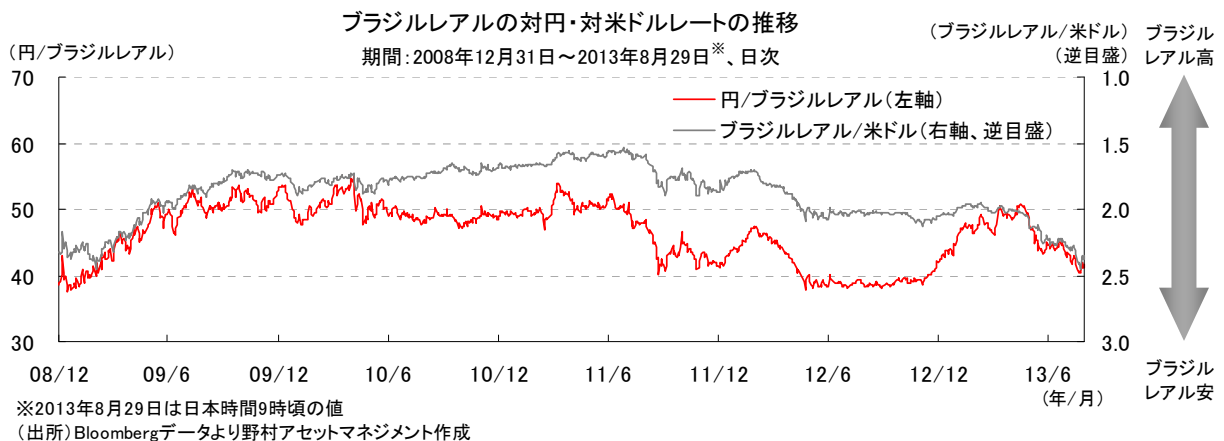
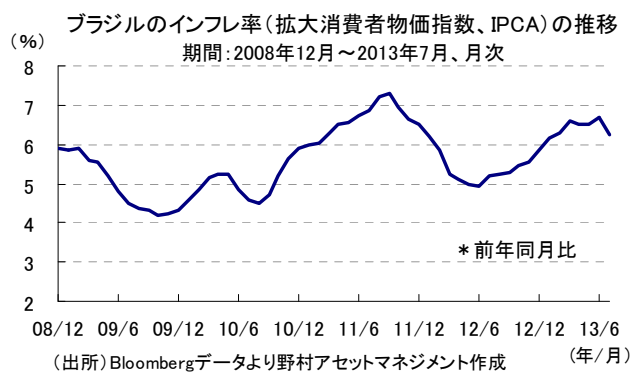
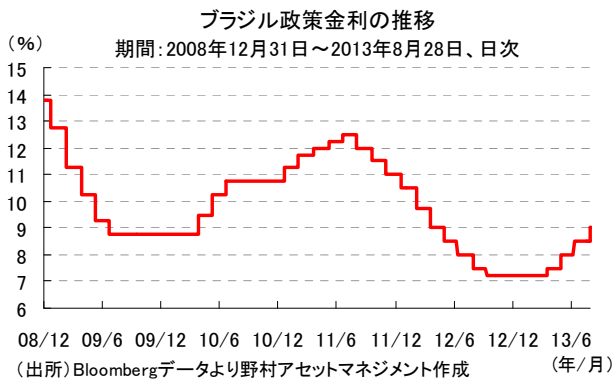
8月28日発表(現地時間)のブラジルの利上げについて

2013年8月28日(現地時間)、ブラジル中央銀行は金融政策決定会合において、市場予想通り政策金利を0.5%引き上げ、年率9.0%とすることを全会一致で決定しました。同中銀は今年4月の金融政策決定会合以降、4会合連続で政策金利を引き上げており、利上げ幅は計1.75%となります。

インフレ率が依然として目標インフレ率の上限である6.5%近くで推移しているなか、同中銀はインフレ抑制を優先させる姿勢を継続しています。また、先日、同中銀は8月23日から年末にかけて毎週30億米ドル(約3,000億円)規模の為替介入の実施を発表しましたが、足元でブラジルレアルの軟調な推移が続いています。このブラジルレアル安がインフレをさらに加速させるとの懸念も高まっていることから、市場ではさらなる利上げを予想する声もあります。

8月29日の外国為替市場では、日本時間9時現在、ブラジルレアルが対米ドルで前日比1.1%、対円で同1.5%のブラジルレアル高となっています。

次回の金融政策決定会合は2013年10月8-9日(政策発表は日本時間10月10日)の予定です。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。